

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十九年十二月度 入選句（投稿総数二千五百四十二句・小中学投句数千八百二十一句）

特選

選者 遠藤 幹郎

ママの手がざらざらしたらふゆがきた 大垣市 高橋 怜生(小一)

「ママの手がざらざらしたら」が、よく効いています。お母さんは、家族みんなのために炊事や洗濯など、水を仕事をがんばってしてくれまます。水だけでなく寒い外の空気にもさらされて、手はざらざらに荒れてしまいます。作者は、そこに目をつけて、「冬がきた」と、ずばつと言いつつたところが、すばらしいです。

妹のポケット落ち葉でいっぱいだ 大垣市 出井 陽(小五)

「ポケット落ち葉でいっぱいだ」が読み手を引きつける一句です。中七が八音になっていますが、「で」はけずれません。妹は、色や形や大きさなど気に入った落ち葉をポケットいっぱいに拾い集めたのですね。作者は、そんな妹のしぐさを見るにつけ、かわいらしさに心を動かされてこの一句が生まれたのでしょうか。

雪積もる道にまっすぐ足の跡 美濃加茂市 村瀬 大知(中三)

「道にまっすぐ足の跡」は、だれのつけた足跡でしょう。私は作者自身のつけた足跡だと思います。今も雪が降り積もる中をひとり作者は、目的地に向かって一心に歩き続けたのです。ふり返ってみると自分の足跡がなんと一直線についていることに気づいての一句だと思えます。緊張感みなぎる雪の朝の情景を詠い上げることができました。

秀逸

母が混ぜ私が丸めた栗きんとん 美濃加茂市 大林 明日香(中三)

しもばしらふむとザクザク音がする 大垣市 渡邊 志織(小三)

登校中カイロ片手に顔ゆるむ 大垣市 小川 慎太郎(小六)

父さんと一緒にがんばる寒げい古 大垣市 一色 深生(小六)

朝日あびキラキラ光るつららさん 大垣市 中川 絢稀(小二)

足元がカチコチこおる朝の道 大垣市 林 大翔(小二)

セーターをあんできたよばあちゃんが 大垣市 室 琉奈(小四)

公園の落ち葉が風できりきりまい 大垣市 坪内 哲平(小三)

かまくらをたくさんつくりかくれんぼ 大垣市 しばい えなり(小三)

お母さん手あみのマフラーありがとう 大垣市 窪田 麗奈(小四)

入選

友達と合格祈願絵馬に書く 美濃加茂市 町田 萌々華(中三)
 大掃除心改め動き出す 美濃加茂市 柘植 幹大(中三)
 雪積もり庭が昨日と別の顔 美濃加茂市 汲田 翔吾(中三)
 霜降りた田の輝きは宝石だ 美濃加茂市 加藤 稜大(中三)
 電光のごとく瞬く流れ星 美濃加茂市 沖館 快音(中三)
 コスモスが風のメロデーつくってる 大垣市 川瀬 里菜(小五)
 ぼたんなべ心も体もぽっかぽか 大垣市 廣畑 裕美子(小三)
 ゆたんぼはぐつすりねむれるまほうだね 大垣市 松村 理々乃(小三)
 マフラーはママの手づくりあったかい 大垣市 すぎき そら(小二)
 お正月もうすぐぼくのたんじょうび 大垣市 藤原 琉成(小二)

入選

なべたべてゆげでめがねがまっしろけ 大垣市 川股 悠月(小五)
 クリスマスえんとつがないどうしよう 大垣市 砂川 優奈(小二)
 お父さんあつかんいっばいおねだりだ 大垣市 今井 日暖(小四)
 しゃきしゃきとふむ足楽し霜柱 大垣市 安田 翔哉(小六)
 初雪はまだかまだかと空を見る 大垣市 杉原 諒(小六)
 あと少しあきらめないで持ちゆう走 大垣市 なんせ まや(小三)
 ツリーにはサンタさんへのお手紙を 大垣市 富岡 茜音(小三)
 やねの下つららがいつぱいひかっている 大垣市 とみだ かずし(小三)
 紙をすく岐阜の伝統守るんだ 大垣市 岡田 真依(小四)
 ストーブのやかんがなっておこってる 大垣市 大橋 楽夢音(小五)

選者吟

日の差して納屋には古き置炬燵

幹郎